

別の街道小話で青森県の十三街道の読み方を書いた。

「じゅうさん」と読むと書いたがちょっと困っている。十三街道の終点近くに十三湖という大きな潟があるが「じゅうさん湖」と読む。その潟近くの地名：十三も「じゅうさん」と読むことが判ったので十三街道を「じゅうさん街道」とした。再度、十三街道の解説を読むと十三湊があり、これをなんと「とみ湊」と読むとある。中世には日本三津七湊としての要港だった「とみ湊」とある。それなら十三街道は「とみ街道」の可能性もある。困った・・・。

街道地図で街道名の読み方を調べるのは難しい。調べ方は何種類かある。

- ① 鉄道の近くの駅名で調べる。駅名はひらがなで書かれている。
- ② 観光協会などでひらがな表記の案内がある。
- ③ 地名総覧を見る
- ④ 仕方なく困ってウィキペディア検索

多用しているのが③地名総覧で「大日本分県地図併地名総覧」昭和40年度版（国際地学協会）と大層な本だが、これが優れモノで40年間改訂されていて信頼出来る。かつ市町村合併前の地名が多く、すべて「かなふり」がある。

これが地名なら使えるのだが、街道名はないので困る時がある。

岩手県と秋田県に平和街道がある。岩手県花巻市近くと秋田県横手市近くを繋ぐ道だが、明治の頃、どんな名前を付けるか困って、始終端の秋田県平賀（ひらが）郡と岩手県和賀（わが）郡の頭文字を取って平和街道とした。呼び方も「ひら+わ」で「ひらわ街道」とした。それが最近は「へいわ街道」と呼び方が変わったらしい。その呼び方が平和の時代的なので流れたのかもしれない。この平和街道は地名総覧には載っていない。

群馬県に四万道の街道を掲載し「しまん道」とした。地名総覧に温泉でも有名な四万温泉があるので「しまん」と確認してふりがなを打った。「しまん」以外は読めないが念のため押さえた。しかし、群馬在住の人から「しま」と呼ぶと言われた。確認をミスったかと思ったがやはり「しまん」だ。観光協会の案内には「しま」としっかりある。現在、地元の人が使っているのだからそれを採用がベストだ。街道を歩いていて「しまん温泉はどこ」と問えば「しま温泉は」とニヤーとした笑い顔で言われてしまうから。

茨城県にある古河市からの道を「ふるかわ往還」と書いたが、「こが往還」と読むようだ。これは調べもしていない。こんなのは引っ掛け問題だ。

街道の呼び方はいろいろあるし、変わっていくこともある。面白い。